

都道府県別賞一等

私のこれから

鹿児島県 鹿児島市立城西中学校 三学年

池野 穂花

私は今年、受験生になりました。正直、まだまだ先だと思っていました。一年後には高校生、四年後には大学生になります。時間が過ぎるのは、本当に一瞬だなと思います。そこで私は将来のことについて四つ考えました。

一、私は大学で建築学を学びたいです。小さい頃から建築に興味があったからです。大学に入るためには、高校にも入らなければなりません。そのためには、勉強という努力が必要です。しかし、努力だけでは、どうしようもないこともあるそうです。何かというと学費です。気になって調べてみると、仮に幼稚園から大学まで公立として約一千万円。全て私立で大学では建築学なので理系とすると約二千四百万円もかかるそうです。中学生の私には想像もつかない額です。どのように用意するのか、両親に聞いてみました。そしたら「学資準備のための保険」というものを教えてくれました。学資準備のための保険とは、教育資金を計画的に貯めることのできる保険だそうです。私は「保険」と聞くと、とても難しそうに思います。しかし私自身にも関わりがあり、身近なものだと感じることができました。両親がしっかりと私に託してくれた未来への道を、私の努力でものにして突き進めるよう、頑張りたいです。

二、私は家を建てたいです。私は将来何をしているのかは分かりませんが、家は欲しいと思っています。自分が住みたいと思った家で、自分が一緒に暮らしたいと思う家族と過ごしたいと思うからです。学費と同じく家を建てるにはお金がかかります。土地代や家全体のお金など様々なところでお金が必要になります。家を建てる際、一般的にローンを組みますが、それと同時に入る保険もあるそうです。それは「ダンシン」です。私は最初聞いたとき、全く聞いたことがなく想像できませんでした。正式名称は「団体信用生命保険」で、ローン契約者が病気や交通事故で亡くなってしまった際、それ以降のローンは払わなくてよいという保険だそうです。初めて聞いた保険でしたが、私のように家を建てたい人にとって、心強い保険だと思いました。私の夢のマイホームは、しっかりと保険にも入り、安心した状態で買いたいです。

三、老後についてです。まだまだ先のことなので、正直全然考えたことはないです。しかし「趣味を楽しめたらいいな」と漠然と思います。老後というのは、私が今まで生きてきた年月よりも長くなるのではないかと思えます。そんな長い期間の資金は公的年金や退職金でまかなえたらいいなと思えます。しかし、それ

## 第62回中学生作文コンクール

だけではまかなえないとしたら、その不足分をどのように用意していくのだろうと思いました。調べてみたら、個人年金保険という保険があることが分かりました。少子高齢化が急速に進み、年金財政が不安定化しているなか、計画的に準備することができるのは、財力的にも安心材料としても、とてもいいなと思います。とても先のことなので、ゆっくり考えていければいいなと思います。

四、「もしも」への備えについてです。もしも私が病気になったり、大きなケガをしたらどうしようと考えました。嬉しいことに私はまだ病気になったことも、大きな事故に遭ったこともありません。なので、万が一入院することになったら、何が必要なのか分かりません。そんな「もしも」に備えるための医療保険というのがあるそうです。個人年金と同じように、保険に入っているだけでお守りのように心にゆとりができそうだなと思いました。もちろん、事故に遭ったり、病気にならないよう気をつけたいです。

将来について考えてみたら、様々な場面において保険が大切なんだと分かりました。保険を考えることは、自分自身をみつめ直し、将来を考えることだと思います。私が描く「ライフプラン」を大切にしていきたいです。